

サミュエル・ヒル氏語る

都督生

サミュエル・ヒル氏は米國コロンビヤ河谿公道協會の會長たる外、太平洋道路改良會の首腦にして我が道路改良會に對しても盡力する所不尠現に勳三等たり

一 日本は太平洋上の英國

高速運搬と道路改良の必要なる時代が東洋にも襲來した、而して時代の趨向は日本の現在に於けるの狀勢では到底如何ともする事の出來ないといふ程度にまで行詰つて來て居る、之れに善所する爲め狭い泥深い統一なき所の現存する道路は之を改良整頓して交通運輸の敏速安全を能ふ限り最高度までし、以て我々人類幸福の爲めに提供すべきである、經濟的立國の上から見ても其緊要なるは勿論にし文明國民優立の究極の眞意義は即ちこゝに在るのであるから御會の宣布及貴君等の指導に依り國民覺機を速め適當なる施設を實現する事を得ば日本は實に太平洋上の英國となるであらう。

二 覺りたる者は奮發の義務を有す

今や日本人は道路の改良と高級運搬の必要なるを解釋し得る位置に進ませられた、而して總て大事業建設遂行した國民は必ず其義務を負つて成したのであるといふ事を忘れてはならぬ、何？日本現在の吐状態では大規模に速時建設工事を起すことは六ヶ敷いと思ふツて、其れは何國たるかを問はず之れが建設に要する費用なりとして別に積んで置いた處があらう？（ヒル氏は椅子を乗り出して言ふ）其れは越し御苦勞といふものである、君諸般の大事業の中で道路の改良建設に對して投じた資金に依つて得る利益は凡ゆる如何なる事業に對する投資より得られる利益よりも遙かに宏大無邊であると自分は確する、道路一たび改良せらるゝや賃銀も勞力も各々有利な鹽梅式に改善せらるゝものである事は歴史がを證明して居る。

三 建設財源難事にあらず

又道路建設の資金は決して其國から流出し去るものでない、必らず國內の凡ゆる階級者の間に幾機關かを通じて配分せられるものである、就中現在貴國の社會政策大家も憂へて居る所の失業労働者等に對し最も確實なる衣食の安住所を得さす事が出来るのみならず當該地方に於ける農商工の衆庶は無論一般労働階級者が利益を受けるといふことは隙らかな事實である。三年程前に日本の銀行家は五百萬弗の證券應募を承諾した事を自分は記憶する、而して現在日本に於て使用しつゝある自動車數をよくは知らぬが約一萬臺と見積り一車輛につき毎年の納税總額を全國平均六十弗と見れば、計六十萬弗の税金は正に一千萬弗の證券利子に相當する、今若し一千萬弗を以て直ちに其必要道路の改良をやつたならば、自動車及之に類する諸車は急速に大増加をなすこと必然である、從て其税金は更に又新たに證券を發行する事を可能ならしめるから全國を通じて更に益々多くの道路改良に着手することが出来るのである。

是れ財政上に何等の危惧をも伴はずして實行し得る適確なる方法である、快捷なる交通路實現の曉は商にまれ農にまれ工にまれ各其活動が旺盛に且つ敏活になるを以て證券償却の如き亦決して難事ではない。

四 生活中樞健全の基礎

今申した如く道路を整備し商農工業者の生活中樞を健全にしたなれば、從つて民力を最高限度までも發達せしめ得るのである、即ち民力發展の最初の基礎工事は此の優良道路の建設によつて初めて其要求を實現し得べきものである。

自分の記憶するところに據れば道路建設費一弗の中で、十八仙は労働者の手に渡り、八仙は道路材料及橋梁鐵材の購入に充てられて居るのである、此割合から考ふるときは労働者の手に歸するところは道路建設に要する種々の材料合算額の二倍から三倍に相當して居る、聞く處によれば近時日本では諸工場の閉止又は休業及び軍縮等により労働者の失業問題に逢着して居るといふことであるが、今其等の失業者に向つて種々なる道路建設工事方法を教へ込み、而して之を實地に當らせたらば失業問題等は立所に解決されることと思ふ、是は實に一舉兩得の方法で策の得たものであると考へます。

五 實生活に適せしめよ!!!

日本のために重大なる問題は、感心し難き近時の流行即ち人氣取りの新事象を高唱しつゝあるの徒を戒しむべきことである、現に國民は道路といふ交通の第一難關に衝き當つて居るのではないか、之を第一切りに開いて國民自身の前に満足を提供しなければならぬと思ふ、日本人は從來貧乏國民なりと稱し自ら之れに甘んじて、之を切り開いて行かうとはしなかつた、然るに今や日本は此の貧乏なりに満足して行く譯には參らぬ様になつた、島帝國なりと雖も優良にして統一せる道路を先づ築き上げて敏快に且つ容易に生活の實際的向上と安樂とを得しめねばならぬ時代圈内に達したことを識者は既に認めて居ると信ずる。

六 具備すべき三種の頭腦

既に信じ、而して之れに着手するに當りては、忽諸に付すべからざる重要なるルールともいふべきものがある、其れは何であるかといふに

第一は帝國を通じて全體の道路網を整齊すべき頭腦の所有者
 第二は道路橋梁下水設備等の設計並に統一連絡に明ある技師
 第三は美的趣味及地理歴史の觀念並に風俗人情に通曉せる人

右の三要件を具備すべきことである之に脱された道路は効果を減却する、故に道路の投資に對する各方面各種の利益を最も多からしめ、又他の方面から鐵道系統との直接反對を相互に避合するといふことを考慮してやらねばならぬ。

七 四季を通じて大なる收益

日本は島國ではある併しながら、君の言ふ如く歴史の勝・地理的美に富んで居るから前に言つた三者に依つて之を保つやうにしなければならぬ、之を没却したら果して如何であらう？ 誇るべき歴史の勝地及地理的山水の絶景があつても之れに接し之れを賞することが出来ないから寶の持ち腐れ否甚敷に至つては之を破壊してしまふやうになる、此等は道路建設の上にも留意しなければならぬことである、優良なる道路を作り人をして此勝景を擅まゝに樂み得るやうにしたならば、たゞに其地其國の人ばかりではない觀光の外人等も陸續として來往し四季を通じて大なる收益を見るに至るであらう。

我が米國に於て此種の事業は吾人の發奮努力と投資とに對して、最大の報酬を提供したが、如斯は周到なる用意と、道路建設事業に經驗を積んだ他の人の教訓を重んじ、且つ莫大な資金と獻身的及義勇的勞力の結晶等によつて初めて贏ち得られたものであるから

八 先人の經驗を尊重せよ

貴國が我々の履んだ經驗を利用し、我々のやつた種々なる失敗に鑑み、工事の實地に臨んで其失敗を再びするやうなことの無いやうに切望する、自分は何等の報酬をも欲するものでない、只今まで述べた自分の提議が日本の爲めに價値を發揮したならば自分の望みは足るものである。

自分は常に親善なる日本の友人たらんことを望んで居る、若しも日本の道路系統が完備した曉、優良なる道路の宣傳者たり且つ親友たるサミュエル・ヒルありしと御記憶下さるを得ば望外の幸福であります。

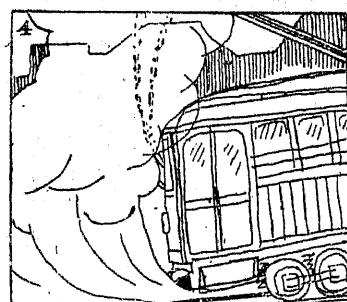
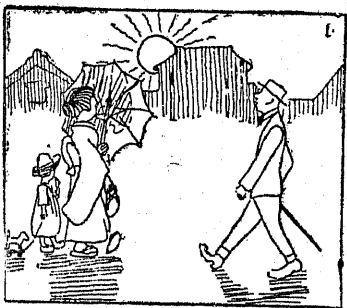
郡道の整理

郡制を廢止した爲に起つた、府縣道認定の問題も、内務省が認可を留保した四百五線を除き、一ト先づ一段落を告げた、留保路線の最も多かつたのは、福岡縣の七十七線を始めとし、滋賀縣の五十二線等に次ぎ、何等留保を觀ることなくして全部認可せられたものは、神奈川、長崎、千葉、山梨、和歌山、高知の各縣位で、其の他の縣は相當の留保路線がある爲めに、内務省の道路課と第一技術課の道路技術係が協力して、實地調査に日も尙足らざる狀況であつたが、今や大部分終了して東京外十五縣を残すのみとなつた、それら實地調査の狀況を聞くに、

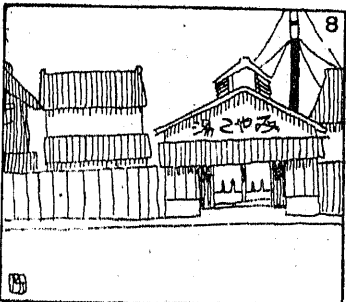
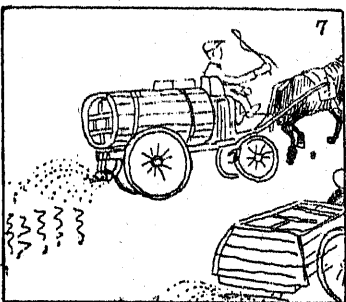
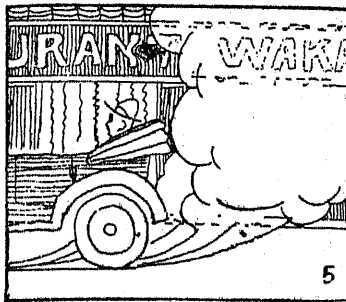
路線の背後に縣會議長が居たり、政黨の幹部が居たりするものに限つて、疎な路線がなく、内務省より調査に出張するものを羽織袴で郡界まで出迎へたり、全村國旗を擧げて歡迎したりするものには二三尺の幅しかない道路があつたり、甚だしきに至りては、在郷軍人會や青年團の非常召集を行つて、用事も無いのに、通行せしめて居るものもある、此の如き顯著手段には、かゝらないが、縣會議員の選舉と衆議院議員の選舉が前に控えて居るので之を利用せんとする人々の熱心は非常なものであるから、十二分の注意を拂つて、昭葬等に陥らぬやう氣を付けて居る。

(1)晴れの日の悲哀

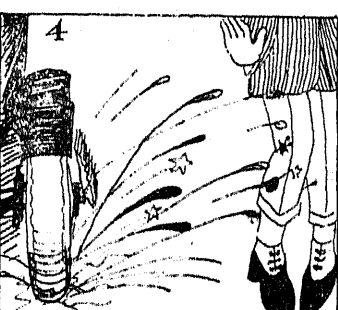
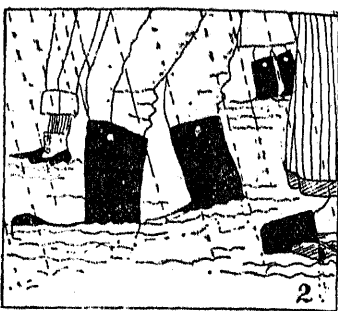
此の日天気晴朗、意氣揚々と出かけたれば、眼の色變えて争はねば乗れぬ電車、やつとの思ひでアラ下り、挟まつて運搬して貰ふ事だけは願ひ叶つたが、電車の後部から捲き起す白塵、自動車を亦負けぬ勢で、スレ〜に立ち進んだ家へ、御丁寧



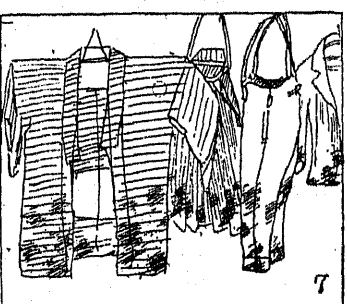
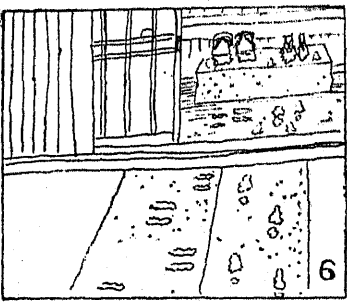
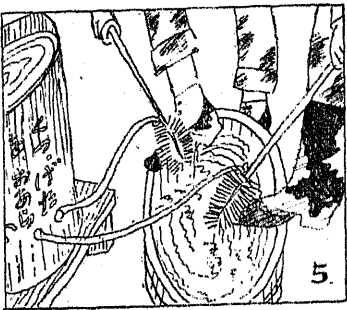
に埃を撒いて歩く、宣傳ビラを撒いて貰ふよりも有難からぬ事だ、コレ〜した町並で目まぐるしく動いて、お月様の出る頃には、身體と言ひ着物と言ひスツカリ埃を浴びてゐる、緑色なるべきアベニューツリーの葉までも、スツカリ白く萎れてゐる、さらでも氣息奄々として



生きてゐる人間共に、御丁寧な背負ひもの、時代遅れの撒水車で水を流してまはつて貰ふこと、身體に積る埃を、洗湯で落す事との消極的方法を繰返して、何うやらせよと買つてゐる事だけが、目附けものにも申すべき。天気晴朗の花のお江戸に、此の悲哀あらうとは、雨の日の悲哀、襟袖も濡れ、靴も濡れ、それから足許の二つの目的のために、上部は勿論、足許へは、ナイシチュウス、近頃



電車に乗れば、相變らずの大入満員で、他人の泥まご背負ひ込まされて、腰から下は、白いものは黒く、黒いものは白くなる、自動車が狭い道幅を威風堂々と泥押開いて進む、これを稱して水統の餘沫と言ふ。洋館の支那には「靴泥洗滌器」となん申す國辱的發明器が頒張つてゐる



が、日本建の支那では、其のまゝ推参、磨きの膏脱石に、少なからぬ量の道路構成體を置土産にする。扱て其の苦惱の排除方法は？ 今、の所曝染のやうに附着した泥を拂ひ落し、洗ひ落す消極的手段と、お天道様の御來光を待つばかり。花の都て、此んな苦勞があらうとは、晴の日の悲哀、雨の日の悲哀